

平成 29 年 6 月 6 日

データサイエンス・オンライン講座（第 3 弾） 「誰でも使える統計オープンデータ」の開講

総務省は、本日、将来の経済成長を担う“データサイエンス”力の高い人材育成のための取組として、データサイエンス・オンライン講座の第 3 弾「誰でも使える統計オープンデータ」を開講します。

本講座は、統計オープンデータを活用したデータ分析の手法を学習することができます。

- 本日、データサイエンス・オンライン講座「誰でも使える統計オープンデータ」を開講します。本講座は、「社会人のためのデータサイエンス入門」※及び「社会人のためのデータサイエンス演習」に続く第 3 弾となります。いずれの講座も社会人のみならず、大学生にもおすすめの内容となっております。
- 本講座は、“データサイエンス”力の向上を目指し、公的統計データを入手できる e-Stat（政府統計の総合窓口）、統計データと地図を組み合わせで可視化できる統計 GIS 等を使い、統計オープンデータを活用したデータ分析の手法を学ぶことができる内容となっております。

MOOC（ムーク）型の無料オンライン講座であり、本講座紹介用ウェブサイト（<http://gacco.org/stat-japan3>）から、どなたでも 7 月中旬まで受講登録が可能ですので、是非御活用ください。

（別添資料）

- 別紙 1 データサイエンス・オンライン講座（第 3 弾）「誰でも使える統計オープンデータ」の概要
- 別紙 2 データサイエンス・オンライン講座の概要
- 別紙 3 これまでに開講したデータサイエンス・オンライン講座の概要

※現在特別開講をしており、御視聴できますので、併せて御活用ください。

（講義動画の閲覧のみが可能で、修了証の発行等はありません。）

（連絡先）

統計局統計利用推進課

担当：高橋課長補佐 丸井係長

電話：03-5273-1023（直通）

FAX：03-3204-9361

E-mail：y-senryaku@soumu.go.jp

6万1千人以上が受講した入門編・実践編講座に続く第3弾の講座（6月6日～8月7日（7月中旬まで受講登録可能））
行政やビジネスの現場における統計オープンデータの活用を想定した活用編講座

【講座の特徴】

- ビジネスの現場で活躍している専門家や総務省統計局及び（独）統計センター職員が講師を担当
- 公的統計データを入手できるe-Stat（政府統計の総合窓口）、統計データと地図を組み合わせ可視化できる統計GIS等を使い、統計オープンデータを活用したデータ分析の基本的な知識を習得する



【学習の流れ】

《講義動画》

データ分析の手法や留意点を解説（1コマ10分程度、各週5～7コマ×4週）

《確認テスト及び最終課題》

講義内容の理解度をチェック（各週5問程度、最終課題20問程度）

講義資料イメージ

佐賀県の事例

データ分析に基づく政策立案手法の導入

取組（実践）「99サガネット」
医療機関への搬送時間短縮
救急車にタブレット配備 → データで現場を可視化

研修（理論）
人材育成
理論に加えてケーススタディ → 他業務での活用促進

相乗効果

業務の共通言語としてのデータ分析


講義動画イメージ

マッシュアップとは

複数のデータを組み合わせると
新たな知見を得ること

e-Statには繋ぎ合わせると面白い
「複数のデータ」がいくつも

今回は産業構造と平均所得の関係を



週	各週のテーマ	内容
1	e-Statを使ったデータ分析	e-Statの統計データを活用したデータ分析の事例を学ぶ （e-Statの機能紹介、活用事例紹介等）
2	公的統計データの使い方	公的統計データの基本事項及び読み方を学ぶ （公的統計の種類と体系、労働力調査・家計調査の基礎知識及び利用の際のポイント等）
3	統計GISの活用	統計データと地図を組み合わせた統計GISの活用方法を学ぶ （jSTAT MAP※1の機能紹介、簡単にできるレポート作成、活用事例紹介等）
4	統計オープンデータの高度利用	統計API機能※2の仕組みや具体的な活用事例等の統計オープンデータの高度な活用方法を学ぶ （統計APIの仕組み、統計オープンデータの活用事例、講座のまとめ等）

※1 地図による小地域分析（jSTAT MAP）

※2 プログラムが自動でデータを取得できるようになる機能

【別紙2】 データサイエンス・オンライン講座の概要

日本政府初のMOOC（ムーク）^{*}講座として、自らの学びをサポートするウェブ上で誰でも参加可能なオープンな講義「データサイエンス・オンライン講座」を開設（平成27年3月）

講義動画



確認テスト及び最終課題



修了証の発行

講師による説明動画でデータサイエンスを分かりやすく解説

各週の確認テストにより理解度を確認、最終課題により習熟度を確認

確認テスト及び最終課題の得点率により修了証を取得

《※MOOC（Massive Open Online Coursesの略）》

インターネット上で誰でも無料で参加可能な、大規模でオープンな講義のこと。ビデオ講義と試験やレポート、ディスカッション可能な掲示板を提供し、修了証を発行

講座選び



受講登録



受講



修了証の発行

《日本では》

日本版MOOCの普及・拡大を目指し、「JMOOC」（日本オープンオンライン教育推進協議会）が平成25年11月に発足。26年4月から「gacco」等のサイトで講座を開設。

第1弾「社会人のためのデータサイエンス入門」

講座の特徴：データ分析の基本的な知識を学べる入門編講座

開講時期：平成27年3月・11月、28年4月※・12月、29年5月※（～8月7日）

学習時間：1回10分程度×4～7回程度(1週間)×4週

実績：社会人を中心に延べ約43,000人が受講

【内容】 [第1週] データ活用への導入、分析事例から統計的な考え方、データの見方への導入

[第2週] データ分析に必要な統計学の理論的な基礎

[第3週] データの見方についての基本的な方法

[第4週] 誰もが入手可能な公的統計データの入手方法とコースのまとめ

第2弾「社会人のためのデータサイエンス演習」

講座の特徴：「社会人のためのデータサイエンス入門」を踏まえ、より実践的な内容へ

開講時期：平成28年4月・11月※

学習時間：1回10分程度×5～6回程度(1週間)×5週

実績：社会人を中心に述べ約18,000人が受講

【内容】 [第1週] データサイエンスとは

[第2週] 分析の概念と事例～Analysis（分析）とは、状況の把握、比較の視点

[第3週] 分析の具体的手法～クロス集計、散布図と相関、時系列データ

[第4週] ビジネスにおける予測と分析結果の報告～回帰分析

[第5週] ビジネスでデータサイエンスを実現するために